

	活動名	実施回数	参加人数										合計	内 容	成 果 と 課 題			
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア								
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人						
子 ど も 育 成 機 能  基 本 活	(2)遊びの教室活動 工作	29		17	247	11	58								333	隔月で5日間、伝承あそび、季節の工作や作ってあそべる内容のものを企画した。(プラバン、的あてをつくってあそぼう、バランスとんぼをつくろう、ハロウィンバックをつくろう、ペットボトルでスノードームをつくろう、吹き戻しをつくろう) 作り方の説明書を作り、各自でも考えながら取り組めるようにした。	5日間実施することにより、途中で終わることなく最後まで仕上げる事ができていた。また、作るだけでなく、作った物であそんだり飾ったりできるような内容を工夫した。 低学年と高学年が同じ物を作ったことで、高学年が低学年に作り方を教えてあげる姿や、高学年に限らず先に完成させた低学年も教えてあげる姿が見られた。6時間授業の日は高学年が参加しづらいことから、実施期間を可能な限り短縮授業の期間に合わせることで少しでも多くの児童が参加できるように工夫した。	
	チャレンジ	27		15	339	19	69								442	隔月で5日間、児童館ならではのあそびに触れるきっかけづくりになるものや、記録のチャレンジを企画した。(マンカラ、けん玉検定、卓球、日替わりミニゲーム、キャップ積み)	記録に挑戦するものは何度も記録に挑戦する姿や、身体を動かしながら取り組むとともに新たな子ども同士の関係作りができていた。けん玉や卓球は、初めての参加者がチャレンジをきっかけに楽しさを実感し、「区民夏まつり」や「じどうかんフェス」のオープニングへの参加や卓球大会の参加につなげることができた。上級生が下級生を教えたり、お互い協力して取り組む等、縦のつながりが見られた。	
	(3)行事活動 左京東山児童館学童保育 所なかよし卓球大会	1		1		1	1									3	今年度初の参加。左京東山児童館学童保育所のこどもたちと卓球大会を通して交流と親睦を深める。	東山いきいき市民活動センターにて、大会へ参加。広報期間が短く、参加人数の確保が少ない中での参加だったが、他館との交流試合をきっかけに、自身の技術向上に意欲が高まるこどもの姿もあった。
	じどうかんフェスこども 実行委員会	10			8	8	34									50	じどうかんフェスに向けて、こども実行委員を募り、フェスに向けてコーナー準備や当日の司会を行った。また、深草児童館の内田館長や、地域の読み聞かせ団体に依頼し、特別ステージを設けた。	フェスに向けてこどもたちが主体的になり、コーナー展開のお手伝いや司会などを行ってくれた。初回・前日以外は全体会議は行わず、各コーナーの担当職員と何度も話し合いを行い、終了後も振り返りをこども中心となり行うことができた。地域の団体にステージを依頼したことにより、特別な体験になったとともに地域とのつながりの良いきっかけとなった。
	おたのしみ卓球大会	1		3	1	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9	卓球に親しみ、日頃の練習の成果が発揮できるよう実施した。試合だけでなく、各自で何回球をつけるかをカウントすることにより試合の勝敗だけでなく、全学年が楽しんで参加できるよう内容を工夫した。	卓球大会前に練習する機会を設けたこともあり、卓球クラブに登録していないこどもも楽しみながら参加できていた。1～2年生の部と3年生以上の部に分け総当たり戦を行うが、参加人数が少ないうえに当日の欠席や遅刻により試合順の変更や不戦勝などもあったが臨機応変に対応できた。試合の後に玉突きの回数を競うことを行ったことにより、試合には勝てなかった人も、違う形で楽しむことができていた。
	クリスマス会実行委員会	13		1	18	23	64									106	クリスマス会に向けて、司会者やゲーム係、飾り係などを募り、こどもたちが主体的に取り組んだ。	職員が内容を決めるのではなく、こどもたちが相談し合いながら考え工夫して企画することができた。初回の会議を昨年度より早めに設定したことで十分に話し合いを行い、スムーズに準備することができた。職員からではなく、こどもたちから取り組みの声がかかるなど、自主的に取りくむ姿が沢山みられた。
	クリスマス会	1		1	29	9	4							0		43	クリスマス会実行委員会を中心にゲームやこどもの出し物を行った。	実行委員のこどもが中心となって司会やこどもの出し物、ゲームを行うことができた。今年度は実行委員の希望でゲームに景品を用意するなど、今年度ならではのクリスマス会が実行できた。

	動														午前中にたこ作りを行い、午後から鴨川河川敷でたこあげを行った。	午前のたこ作りは低学年を中心に事前に下絵を描いておくことにより、当日スムーズに製作ができた。午後のたこあげは気候がよく、一般の利用者が多くいたため、場所を変更して行った。次年度は小学校のグラウンドなど場所の検討が必要。当日は有志の保護者のお手伝いを多くの方に来ていただき、保護者同士の交流の場にもなった。
		たこあげ大会	1	1	14	4	3	1		7				30		
子 ど も 育 成 機 能		避難訓練	11		9	305	14	77	1		0	0	0	406	毎月行い、火災・地震発生時における避難経路や避難方法を確認する。7月には水害・9月には土砂の講話を行う。また、8月には左京消防署員に来てもらい、指導してもらう。	継続して実施することにより、防災意識の向上につながっている。
		(4)クラブ活動 なんでもクラブ	11		2		58	9		0	0	0	0	69	4～6年生の児童を対象としたクラブ。館外活動や工作、クッキングなど行う。	自分たちで活動の内容を考え、楽しみながら取り組んだ。毎月、6～7名の参加があり、年度途中からは申し込み人数が定員の10名となった。
		きりえクラブ	26		38	149	10	140					2	339	奇数月（5.7.9.11.1.3月）の2週目、月～金に実施。小学生から大人を対象としたきりえに取り組む。	登録者が増えたことにより、学年で週替わりに分けての実施。ボランティアでお越しいただいている地域の方と、「吉田学区」をテーマに大型きりえの制作を行う。
		卓球クラブ	16		8	71	6	87						172	毎週土曜の実施を、参加人数の確保の為偶数月（6.8.10.12.2月）の2週目、月～金に実施。初心者にはラケットの持ち方から練習し、ラリーができることもたちは、自分たちでゲームを楽しむ。	年度途中から参加人数も増え、学年で時間に分けて行うなどその日の人数に合わせて工夫して行った。しかし、場所の狭さや高学年以上の時間の確保など懸念点があり、来年度からは再び土曜の実施とする。
		(5) 地域間交流促進活動 大型きりえお披露目会	1		2	26	3	7		5				43	きりえクラブの子どもたちが作成した、「大型きりえ」の完成を地域の方に披露する。	ボランティアで来てくださっている地域の方と協力し、「吉田学区」をテーマに下絵から作成。作成時の子どもたちの思いや、地域にまつわる貴重な話を聞くこともできた。「きりえクラブ」としての1年のまとめにもなった。
		京の匠の技を知る！伝統 工芸体験	1		13	4	4	1					10	32	京都の伝統工芸「京鹿の子」の絞り染めを体験する。	職人さんからの指導をうけ、実際に絞り染めを体験する。生地を割りばしや洗濯ばさみで挟む手作業などを実際に体験し、楽しく学びながら京都の伝統工芸に気軽に触れることのできる機会となった。
		(7) 思春期児童の活動支援 中高生GUクラブ	22						55				0	55	毎月2回、中高生の自主的な活動を援助する。	平均3～4名の参加で、自分たちできめた取り組みをする。2学年の参加があり、勉強や他愛のない会話で中学生の居場所作りとして機能を果たすことができていた。次年度からは、中学校の各教室にじどうかんニュースの掲示を依頼し、利用者への周知を促す試みだ。
		合 計	171	1	124	1201	173	553	56	12	0	0	12	2132		
	推 進 活 動	(10) 地域を知る活動 防犯・交通安全教室	3		2	101	1	26						130	4月と2月に交通安全と不審者の対応について、川端警察署の交通課と生活安全課の警察官に来ていただき指導を受けた。子ども向けはDVD視聴、職員向けは実際にさすまたを使って訓練を行った。また、7月には交通安全のお話とともに、反射材を使ったミサンガづくりもおこなった。	子ども向けのDVDは1年生にもわかりやすく、勉強もでき、笑い声が飛び交うような面白い内容で最後まで集中することができていた。不審者対策では、外あそびの際等、入口に鍵をつける等の対策が必要との指導を受け門と玄関の施錠の実施を行うことになった。
		合 計	3	0	2	101	1	26	0	0	0	0	0	130		
	子ども育成機能 合 計	174	1	126	1302	174	579	56	12	0	0	12	2262			

\*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。  
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。  
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

（ 令和7 ）年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 （ 07 京 都 市 吉 田 ） 児 童 館 <様式10-2>

活動名	実施回数	参 加 人 数											内 容	成 果 と 課 題	
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア			合計			
(1)乳幼児とその保護者			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人				
※ (1)乳幼児とその保護者を対象とする活動 ①乳幼児のクラブ活動はとぼっぽクラブ	32	12							13				25	毎週火曜日に1歳半以上の乳幼児とその保護者を対象としたクラブ。歌・手あそび、絵本、体操、工作やあそびなど様々な取り組みを通じて、親子のふれあいや、こども同士・保護者同士の友だち作り・仲間作りを支援する。	年間を通して参加者が少なく、共働き増加による保育園への入園の様子が顕著に表れていた。活動内容の変更や、曜日変更などを視野に入れていかなければならない。
②乳幼児のクラブ活動びよびよクラブ	39	133							138				271	毎週水曜日に1歳半までの乳幼児とその保護者を対象としたクラブ。ふれあいあそび・絵本・カレンダー作り・季節の工作など様々な取り組みを通じて、親子のふれあいや、こども同士・保護者同士の友だち作り・仲間作りを支援する。	平均4～5組の参加があったが、年度末に近づいてくると幼稚園のプレ保育などで参加人数が減少していた。2026年度からは保育園に入園する家庭が多い様子がうかがえていた。その中でも、工作や保護者同士の交流を楽しみに参加される方が多かった。引き続き、保護者のリフレッシュや情報交換が進むような取組を行っていく。
③乳幼児のクラブ活動なかよしだクラブ	29	27							28				55	第2を除いた毎週金曜日に乳幼児の保護者を対象とした保護者向け工作やエクササイズ、子育て講座などを行う。また、クラブを通じて、こども同士・保護者同士の交流・仲間づくりを支援する。	金曜日に行っていたが、火曜日と同様減少傾向が見られていた。助産師さんの講座を年度途中から水曜日に変更し、少しでもたくさんの方に利用していただける機会を設けるようにした。
子育て講座「おやこでリズムあそび」	11	36							37				73	毎月第2金曜日にリトミックの先生に来ていただき、乳幼児親子を対象とした音楽あそびを行う。	少ない参加人数ではあったが、その分一人一人に適したリズムあそびを提供していただいていた。
(2)家族参加を促す活動 乳幼児さんあそびにおいでよ!	4	26		5					22				53	乳幼児クラブが行われない夏休み期間中に乳幼児親子を対象としたイベントを開催する。ミニおまつりごっこ、大型遊具であそぼう。工作「センサーバッグを作ろう」と内容を変え、家族での参加を呼びかけた。	幼稚園の夏休み期間中に行うことにより、普段は利用されない乳幼児親子の参加がたくさんあった。その中で、初めて出会う乳幼児親子や小学生と交流することができていた。
合 計	115	234	0	5	0	0	0	0	238	0	0	0	477		
(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容				件数	つないだ機関等	件数	
	乳幼児 小1～3年(自由来館) 小1～3年(学童) 小4～6年(自由来館) 小4～6年(学童) 中学生 高校生		児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 { }					健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 { }					児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他{ }		
	件数 計	0	-				0	-				0	-	0	
(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容				育 成 ・ 支 援 内 容				成 果 と 課 題				
推進活動 (5)子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容				成 果 と 課 題								
	「京都市家庭ごみ有料指定袋無料引換券」の引換	毎日	京都市家庭ごみ有料指定袋無料引換券を持って、引き換えに来られた保護者に児童館ニュース等を配付し、児童館の利用促進につなげる。				児童館の利用促進というよりは、常の利用者が身近なところでごみ袋がもらえる場となっている。								

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動〔①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動〕(2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

地域	基	本	社	活	進	機	能	活動名	実施回数	主催	参加人数						連携団体	成果と課題		
											乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生			大人	合計
												自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
(1) 地域住民との交流を促進する活動	すくすくサロン	6	吉田社会福祉協議会	13										36	49	吉田社会福祉協議会	地域の主任児童委員が主となり、乳幼児親子に様々な支援を行った。講師を招いてヨガやフラワーアレンジメントなどを行った。参加の乳幼児親子が少なく、地域のニーズや実施回数、広報の方法についての検討が必要。今後も引き続き、互いのアイデアの抽出や意見交換をしていく。			
	精華高校ミニおまつり	1	京都精華学園高等学校	16	6									15	37	京都精華学園高等学校	京都精華学園高等学校で実施。学童クラブのきょうだい関係にも広報し、小学生も一緒に参加していた。土曜日に実施することにより父親の参加も多く、乳幼児親子と高校生との良い交流となった。			
	川端幼児セーフティ大会	1	川端警察署	2										2	4	京都府川端警察署・(一財)京都府交通安全協会	川端警察署にて実施されるイベントに参加した。乳幼児さんにも興味をもってもらえるようなパネルシアターや紙芝居を用いた交通安全教室が行われた。また、バトカーと白バイでの記念撮影を喜ばれている様子がうかがえた。参加者は現地集合・現地解散とした。2026年度からは左京警察署となるため、最後のイベント参加となった。			
	京都やんちゃフェスタ2025 京都版ミニミュンヘン	1	左京・東山児童館学童保育所まつり実行委員会			1	2								3	3	京都やんちゃフェスタ実行委員会	やんちゃフェスタと京都版ミニミュンヘンが梅小路公園で同時開催された。公共交通機関を使用する際のルールを学ぶと共に、参加児童が少なかったが、それ故に各自が参加したいコーナーで存分に楽しむことができた。		
	左京南部スマイル広場	1	左京南部親子スマイル広場実行委員会	10											10	20	左京南部児童館・学童保育所	北白川児童館にて実施。参加者は、のびのびとあそぶことができた。色々な地域の乳幼児親子さんが色々な職員と触れ合い、交流できる場となった。		
	よしだじどうかんフェス2025	1	吉田児童館	33	40	4	23								83	183	学童クラブ保護者会	実行委員のこどもたちが司会やこどもスタッフとなり、有志の保護者と一緒にコーナーを展開した。オープニングは、学童クラブのこどもたちによる手話うた・けん玉を行った。特別ステージでは、他児童館の館長先生による大道芸や、読み聞かせボランティア、精華高校コーナーでは地域の生き物をこどもたちに紹介してくれるなどで、有意義な時間となった。鑑賞のみではなくこどもたちが参加できる地域交流の良い場であった。地域の乳幼児さんから大人までたくさんの参加者があり盛り上がった。		
	合計	11	—	74	46	5	25	0	0	146	296									
(2) ボランティア	活動内容		活動人数				成果と課題													
	あそびのボランティア		中学生	大学生	大人	合計	年間を通して、小学生と交流を行うことができた。													
		合計	23	2	20	45														
(3) 地域との連携を促進する活動	連携団体等		連携内容						成果と課題											
	吉田社会福祉協議会		吉田子育て支援ネットワークに参加。						吉田子育て支援ネットワークを3回実施し、近況報告や情報交換をすることができた。											
	民生児童委員(主任児童委員)		すくすくサロンの参加。乳幼児クラブでの交流など																	
	赤い実保育園		毎月、児童館ニュースを配布し、児童館事業を知ってもらう。																	
	風の子保育園		左京東山児童館学童保育所まつりや、じどうかんフェスのチラシ、ポスターの掲示を依頼。																	
	ベスタロッソ保育園		吉田子育て支援ネットワークに参加。																	
	あおぞら保育園																			
	吉田幼稚園		児童館ニュースの全児童配布。小学校のクラス担任と学童クラブ担任との懇話会。																	
	第四錦林小学校		児童館ニュースの掲示と配布。左京こどもはぐくみ室が発行する情報誌の配布。																	
	左京こどもはぐくみ室																			
	左京保健センター		児童館ニュースの掲示と配布。																	
	栄田クリニック		児童館ニュースの掲示と配布。																	
	吉田幼稚園		児童館ニュースの掲示と配布。																	
	義正保育所		児童館ニュースの掲示と配布。																	
	京都ファミリーハウス		毎月、児童館ニュースを配布し、児童館事業を知ってもらう。																	
左京消防署		児童館の避難訓練にて指導をしていただく。																		
川端警察署		乳幼児親子対象のセーフティ大会や、小学生対象の防犯・交通安全教室に協力いただく。																		
京都精華学園高等学校		幼児教育を選択している高校生が、乳幼児のふれあう機会を持つ。						ミニおまつりで乳幼児親子と高校生の交流事業を行うことができた。また、じどうかんフェスでのコーナー展開や、あそびのボランティアとしても参加していただき交流することができた。												

地 域 活 動	(4) 児童館を支える地域 組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議/取組頻度		議題/取組内容		成果と課題			
		吉田みまもり隊		自治連動会・各種団体など		自治連合会		日常の組織活動の中で、こども たちへの目配りを行う。		職員もみまもり隊に加入し、地 域のこどもたちの安全に目を配 る。			
福 祉 促 進	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先(団体・機関等)		成果と課題					
		育成室・遊戯室		お楽しみ会・各実行委員会会議		学童クラブ保護者会		親子の交流を目的としたお楽しみ会やフェスに向けて の打ち合わせなどを行った。					
		遊戯室		すくすくサロン		吉田社会福祉協議会		乳幼児親子を対象としたサロンを実施。参加人数は少 なかったが、手厚い支援を行うことができていた。					
機 能 推 進	(6) 地域調査活動	調査名		調査目的		調査対象		調査主体		調査方法		成果と課題	
		児童館利用者アンケート		①利用者ニーズの把握 ②開かれた児童館づく りを実践できる職員の 育成。 ③市社協が運営する児 童館であることの周 知。 ④アンケート結果を受 けての事業の改善、充 実。		児童館利用の小学生 児童館利用の中高生 児童館利用の保護者		京都市社会福祉協議会		小学生、中学生、乳幼児保 護者にその場で記入して もらい回収した。 学童クラブ保護者には、 Webを使用しての回収を 行った。		ほとんどの子どもたちが友だちと楽しくあそべて楽し いという意見が多く得られた。しかし、学童人数の増 加で、ゆっくりできないという意見も多く、環境整備 やあそび方の必要である。乳幼児保護者は、来館され た際にその場で記入してもらった。学童クラブ保護者 にはメッセージでの回答依頼の呼びかけを行ったが、 期限内での回収率は少なかったため、リマインドメー ルが必要となった。	
		乳幼児クラブアンケート		次年度の運営参考		各乳幼児クラブ参加者		児童館		クラブ終了時に記入・回収		はとぼぼクラブ、びよびよクラブ、なかよしだクラ ブと分けていた用紙を乳幼児クラブアンケートとして 統一する。乳幼児クラブに登録されている保護者から 感想・要望を聞くことができ、次年度の取り組み方法 についての参考となった。	

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題	
広 報 活 動	児童館の利用案内	随時	利用者	来館受付に常備し、来館者に配付	児童館の案内	初めて来館する方やボランティアの方などへの説明用に活用できた。	
	児童館ニュース	月1回	地域住民	地域委員を通じての回覧および館前の掲示板に掲示	各施設に設置してもらう	児童館の案内・月の行事のお知らせ	小学校の児童全員に配付することにより、全校生徒に児童館ニュースが見てもらえている。昨年まで、地域の回覧板と一緒に広報していただいていたが、今年度より廃止されたため、今まで以上に広報の仕方について考えていかなければならない。
			第四錦林小学校全世帯	小学校を通じて全世帯に配付			
			児童館利用者	児童館入口にて設置			
			養正保育所				
			朱い実保育園・風の子保育園				
			ベスタロッヂ保育園				
			あおぞら保育園				
			左京子どもはぐくみ室				
			左京保健福祉センター				
			吉田幼稚園				
			京都精華高校				
			ライフ川端一条店				
			柴田クリニック	直接配付			
民生児童委員							
京都ファミリーハウス							
乳幼児保護者	民生児童委員を通じて配付						
はとぼっぼクラブだより	月1回	はとぼっぼクラブの保護者	クラブ内全員配付	行事のお知らせ・歌、手あそびの紹介	各クラブの予定や連絡に活用できた。		
びよびよクラブだより	月1回	びよびよクラブの保護者	クラブ内全員配付				
はとぼっぼクラブ案内	随時	はとぼっぼクラブ登録希望者	直接配付	はとぼっぼクラブの案内説明	登録を希望する方に渡し、説明を行うことができた。		
びよびよクラブ案内	随時	びよびよクラブ登録希望者	直接配付	びよびよクラブの案内説明	登録を希望する方に渡し、説明を行うことができた。		
なかよしだクラブ案内	随時	なかよしだクラブ登録希望者	直接配付	なかよしだクラブの案内説明	登録を希望する方に渡し、説明を行うことができた。		
なんでもクラブ案内	随時	なんでもクラブ登録希望者	登録希望者に直接配付	クラブの内容説明	登録希望者と保護者に内容を知ってもらうことができた。		
卓球クラブ案内	随時	登録希望者	児童館内に掲示	行事案内	行事の案内を通じて、児童館の活動を知ってもらうことができた。		
きりえクラブ案内	随時	登録希望者	児童館内に掲示				
よしだじどうかんフェス	1回	地域住民	児童館内に掲示				
乳幼児さん、あそびにおいでよ	1回	地域住民	児童館前に掲示				
		乳幼児保護者	来館者に告知・配付				

ファイル名

最終更新日時